

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度運用版

(運用期間:2023年 5月～2024年4月)



発行日:2024年6月19日

森田産業 株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 環境経営方針	2
4. 環境経営目標	3
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容.....	5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組結果と その評価の実績、並びに次年度の取組	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	10

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 森田産業株式会社
代表者氏名 代表取締役 森田奉成
- (2) 所在地 本 社 〒810-0044 福岡市中央区六本松3丁目11-31SGビル5F
芦屋支店 〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町山鹿852-9-411
倉 庫 〒812-0043 福岡市博多区堅粕1丁目1-5
- (3) 環境管理責任者 森田奉成
連絡担当者 森田奉成
連絡先 TEL 092-751-8666 FAX 092-751-8676
Eメールアドレス mt451222@yahoo.co.jp
- (4) 事業の内容 建築事業.清掃事業.建物管理事業.環境事業
・建築工事業 福岡県知事許可(般-2) 第 108875 号
建築物環境衛生管理技術者免状 第122230号
- (5) 事業の規模 総売上額: 売上高記載区分A (5億円未満)
- | 区 分 | 単 位 | 本 社 | 芦屋支店 | 合 計 |
|------|----------------|-----|------|-----|
| 従業員数 | 人 | 20 | 30 | 50 |
| 延床面積 | m ² | 36 | 30 | 66 |
- (6) 事業年度 5月～翌年4月

2. 認証・登録の対象範囲

- (1) 対象事業所 本社、芦屋支店、倉庫
- (2) 対象活動 建築工事業、ビル清掃事業、建物管理事業、蓄光製品等の販売

3・環境経営方針

＜環境経営理念＞

私たち、森田産業株式会社は『社会から必要とされ、社会に貢献し、社会を豊かにする』を経営理念として掲げ、建築工事業、清掃業の事業活動を行います。また堅実経営を信条に、独創的な改革と進化の精神を忘れず、社会から必要とされ続けることを念頭において、人と自然が共生できる環境づくりに取り組んで参ります。

今、私たちは、こうした事業活動に伴うエネルギーや資材の使用が地域及び地球の環境に影響を与えていることを十分に自覚し、全社をあげて環境問題に積極的に取り組み、環境経営の継続的改善により、持続可能な社会づくりに貢献して参ります。

＜環境行動指針＞

当社の環境経営理念に基づき、深刻化する環境問題への対応を最重要課題としこの事業活動において環境への影響を抑制し、環境負荷の削減等を推進するため以下の環境行動について自主的、積極的、継続的に取り組みます。

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は次の項目を重点項目として、環境行動を計画的に実施します。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量の発生抑制とリサイクルを推進します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 当社が得意とする、環境負荷低減技術を使った受注物件を増やしていきます。
(環境負荷を低減できる材料等の自社生成、使用及び販売)
 - (5) 地域の環境保全活動には、積極的に参加します。
3. 当社の毎年の環境への取組状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知させ、一般にも公表します。

制定日 2021年9月19日

森田産業株式会社

代表取締役 森田 奉成

4. 環境経営目標

環境経営方針を踏まえ、当社の事業活動における環境経営目標は各分野毎に区分し、下記の4項目13目標を設定しました。

環境目標	サイト 区分	単位	基準年 2020年度 実績値	目 標			
				2021年度 (1%削減)	2022年度 (2%削減)	2023年度 (3%削減)	2024年度 (4%削減)
			2020.4～ 2021.5	2021.5～ 2022.4	2023.5～ 2023.4	2024.5～ 2025.4	2026.5～ 2026.4
1. 二酸化炭素排出量の削減							
	全社	kg-CO ₂	12,860	12,730	12,600	12,470	12,340
①電気使用量の削減	事務所 (本社)	kWh	1,084	1,070	1,060	1,050	1,040
	事務所 (支店)	kWh	1,826	1,800	1,790	1,770	1,750
②ガソリン使用量の削減	事務所 (本社)	ℓ	3,790	3,750	3,710	3,670	3,630
	事務所 (支店)	ℓ	0	現状把握	135	134	132
	建設現場	ℓ	1,045	1,030	1,020	1,010	1,000
2. 廃棄物排出量の削減 ※1							
①一般廃棄物排出量の削減	事務所 (本社)	kg	不明	現状把握	36.0	35.6	35.2
	事務所 (支店)	kg	不明	現状把握	36.0	35.6	35.2
3. 水使用量の削減 ※2	事務所 (本社)	m³	不明 ※1	節水に努める			
	事務所 (支店)	m³	264 ※1	節水に努める			
4. 当社の環境負荷低減技術を活かした工事の増加							
①当社の環境負荷低減技術 を活かした工事の受注増加	全社	該当工事 の受注件 数	10	11	12	13	14
②環境負荷の小さい原材料 調達先の選定	全社	% (調達現場割 合)	10	15	20	25	30
5. 地域清掃活動							
①月に1度、地域の清掃活動 を行います。	全社		実施無 ※3	実施無 ※3	実施無 ※3	地域情勢を踏 まえて実施	

備考)・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.479kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2020年度調整後排出係数)を使用した。

- ・()内の数値は、基準年(2019年度実績値)に対する削減率を示す。
- ・サイト区分の全社とは、事務所(本社)＋事務所(支店)＋建設現場を示す。
- ・建設現場は、工事用作業車の燃料使用量を対象とした。
- ・化学物質は自社工事で、使用しない為、目標から除外した。

※1:産業廃棄物については、下請工事の為、排出していないので目標を設定していない。

※2:水使用量は、本社はテナント料に含まれており、「不明」。支店は、固定支払額からの推定値で示す。

※3:コロナ流行により、周辺情勢に配慮し実施を控えた。

5. 環境経営計画 (2023年度)

- ・環境経営目標を達成するため、具体的な取組内容(達成手段・責任者・担当者・スケジュール)を決めて、現場経営計画を策定し、全社員が丸となって取組みました。
- ・資源のリサイクル促進と廃棄物の廃棄量を削減し、循環型事業経営をすすめます。
- ・節電、節水を計画的に実施し、環境負荷の低減を図ります。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①電気使用量の削減	事務所 (本社)	森田奉成	・事務所の室温は冷房期28℃、暖房期20℃とし エアコンで調整する。	森田奉成	冷房期:5～9月 暖房期:11～3月
			・不要な照明の消灯・夜間の主電源OFF		通 年
	事務所 (支店)	森田奉成	・現場事務所等の室温は、冷房期28℃、暖房期 20℃とし、エアコンで調節する	越智一矢	冷房期:5～9月 暖房期:11～3月
			・不要な照明の消灯・夜間の主電源OFF		通 年
②ガソリン使用量の削減	事務所 (本社)	森田奉成	・急減速、急加速、無駄なアイドリングをしない。	森田奉成	通 年
			・不用品を車両から降して整理整頓、掃除を行う。		
			・ガソリンの使用量を計測、記録する。		
	事務所 (支店)	森田奉成	・急減速、急加速、無駄なアイドリングをしない。	越智一矢	通 年
			・不用品を車両から降して整理整頓、掃除を行う。		
			・ガソリンの使用量を計測、記録する。		
	建設 現場	白浜重光	・急減速、急加速、無駄なアイドリングはしない	白浜重光	通 年

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①一般廃棄物排出量の削減	事務所 (本社)	森田奉成	・資源ごみと燃えるごみを分別して重量を計測し記 録する。	森田奉成	通 年
			・裏紙使用を徹底しコピー用紙の使用量を削減する		
	事務所 (支店)	森田奉成	・資源ごみと燃えるごみを分別して重量を計測し記 録する。	越智一矢	通 年
			・裏紙使用を徹底し、コピー用紙の使用量を削減 する		

3. 水使用量の削減

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①水使用量の削減	事務所 (本社)	森田奉成	・日常の節水・漏水の点検。	森田奉成	通 年
	事務所 (支店)	森田奉成	・節水の励行・洗車は必要最小限とする。	越智一矢	通 年

4. 当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加	全社	森田奉成	・電力等のエネルギーを必要としない、蓄光材製品 の製造・販売及び普及を推進する。	森田奉成	通 年
②環境負荷の小さい原材料調達	現場	白浜重光	・自社製のアルカリ電解水の使用し、洗剤等の使用 量を低減する。	白浜重光	通 年
			・ホルムアルデヒドを含有する製品の使用を中止 する。(対応済)		

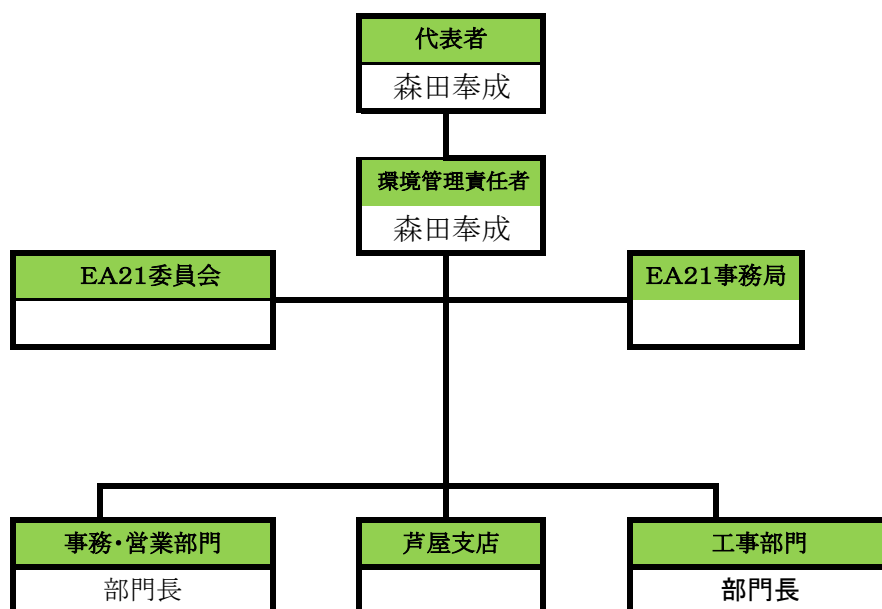
5. 地域清掃活動

活動項目	サイト 区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①地域の清掃活動	全社	森田奉成	・月に1度、地域の清掃活動を行います。	森田奉成	通 年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

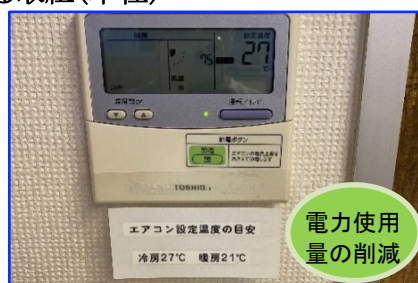
- ・2021年度試行運用期間に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・なお、実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって取組みました。

(1) エコアクション21実施体制



(2) 2021年度試行運用期間に実施した環境への取組

環境負荷を削減する取組(本社)



- ・事務所の蛇口付近には、節水を促すシールを設置し、社員の節水意識を高めるようにしました。
- ・エアコンのスイッチには、設定温度を表示し、節電を促しました。
- ・事務所の照明スイッチにも、こまめな消灯を促すよう、注意表示を設けました。
- ・事務所に、古紙回収ボックスを設け、紙の回収を図り、リサイクルに努めました。

環境負荷を削減する取組(支店)



- ・事務所の蛇口付近には、節水を促すシールを設置し、社員の節水意識を高めるようにしました。
- ・エアコンのスイッチには、設定温度を表示し、節電を促しました。
- ・事務所の照明スイッチにも、こまめな消灯を促すよう、注意表示を設けました。
- ・事務所に、古紙回収ボックスを設け、紙の回収を図り、リサイクルに努めました。

環境負荷を削減した製品の製造・販売の取組み(本)



- ・漁港湾施設の電気を使用しない表示物の提案・製造・販売。



- ・漁港湾施設の電気を使用しない表示物の提案・製造・販売。



- ・道路橋の橋脚の注意表示物



- ・各種公共施設の電気を使用しない表示物

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組 結果とその評価の実績、並びに次年度の取組

(1) 環境経営目標の実績

- ・今回の2023年度運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標4項目12目標のうち、8目標について、目標を達成できました。
- ・二酸化炭素排出量については、支店の電気使用量を低減できた半面、本社業務が逼迫し、夜間作業が増えたこと、同様に、夜間作業や遠方の現場が多かったことが、排出量が大きくなった原因考えられます。
- ・一般廃棄物は、目標を達成できました。今後も継続として取り組んでいきます。
- ・本業目標とした「環境負荷低減技術を活かした工事」については、目標を達成できました。今後も、提案活動を継続し、目標達成を目指します。

環境目標	サイト 区分	単位	2023年運用期間		目標達成率	目標達成評価
			目 標	実 績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	12,470	14,480	86 %	△
①電気使用量の削減	事務所 (本社)	kWh	1,050	1,561	67 %	×
	事務所 (支店)	kWh	1,770	660	268 %	◎
②ガソリン使用量の削減	事務所 (本社)	ℓ	3,670	2,846	129 %	◎
	事務所 (支店)	ℓ	134	90	149 %	◎
	建設現場	ℓ	1,010	2,581	39 %	×
2. 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物排出量の削減	事務所 (本社)	kg	35.6	35	102 %	○
	事務所 (支店)	kg	35.6	35	102 %	○
3. 水使用量の削減	事務所 (本社)	m ³	節水に努める ※2	節水に努めた	-	○
	事務所 (支店)	m ³	節水に努める ※3	節水に努めた	-	○
4. 当社の環境負荷低減技術を 活かした工事の増加						
①当社の環境負荷低減技術 を活かした工事の受注増加	全社	該当工事 の受注件 数	13	18	138 %	○
②環境負荷の小さい原材料 調達先の選定	全社	% (調達現場割 合)	25	18	72 %	×
5. 地域清掃活動						
①地域の清掃活動	全社	回	月1回	実施無 ※5	-	-

備考) ※1 目標値は基準年(2020年度)の同期間実績値から削減率を乗じて算定した。

※2 目標達成率の計算 目標÷実績×100(削減目標の場合)、実績÷目標×100(増加目標の場合)。

※3 評価区分 ◎:目標達成率≧120% ○:100%≦達成率<120% △:80%≦達成率<100% ×:達成率、80% ー:判定不可

※1: 支店車両は、2021年11月以降に導入予した為、2022年度当初目標値は設定していない。(表記の値は便宜上の値)

※2: 本社事務所の水道使用料は、事務所賃料に包括されており、使用量は不明である。

※3: 支店の水道使用量は、使用量に関わらず定量定額請求(2022,1現在)の為、使用実態は把握できない。

※4: 支店の廃棄物は、テナント指示により廃棄されるので、把握できない。

※5: コロナ流行により、周辺情勢に配慮し実施を控えた。

(2)環境経営計画の実施・取組結果とその評価

- ・2022年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。

1.二酸化炭素排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①電気使用量の削減	事務所(本社)	×	1.本社事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	○	<現状> ・取組については、二酸化炭素排出量の削減目標も達成できた。 <今後> ・現在の取組を継続する。
			2.不要な照明の消灯・夜間の主電源OFF	◎	
	事務所(支店)	◎	1.本社事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	◎	
			2.不要な照明の消灯・夜間の主電源OFF	◎	
②ガソリン使用量の削減	事務所(本社)	○	急減速、急加速、無駄なアイドリングは避ける	○	
			不用品を車両から降ろして整理整頓・掃除	○	
	建設現場	×	急減速、急加速、無駄なアイドリングは避ける	○	

備考) 達成状況判定区分 ◎:目標達成率 $\geq 120\%$ ○:100% $\leq$ 達成率 $< 120\%$ △:80% $\leq$ 達成率 $< 100\%$ ×:達成率 $< 80\%$ —:判定不可
 実施状況判定区分 ◎:よく実施されている(定着状態) ○:実施されている △:ほぼ実施されている ×:実施されていない —:判定不可

2.廃棄物排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①一般廃棄物排出量の削減	事務所(本社)	×	資源ごみと燃えるごみを分別して重量を計測し記録する	○	<現状> ・良くできている。 <今後> ・現在の取組実施。
			裏紙使用を徹底し、コピー用紙の使用量を削減する	○	
	事務所(支店)	—	資源ごみと燃えるごみを分別して重量を計測し記録する	—	
			裏紙使用を徹底し、コピー用紙の使用量を削減する	○	

3.水使用量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①水使用量の削減	事務所(本社)	—	日常の節水・漏水の点検	◎	<現状> ・良くできている。 <今後> ・現在の取組継続。
	事務所(支店)	—	日常の節水	◎	

4.当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①当社の環境負荷低減技術を活かした工事受注の増加	全社	○	電力等のエネルギーを必要としない、蓄光材製品の製造・販売及び普及を推進します。	◎	<現状> ・良くできている。 <今後> ・現在の取組継続。
②環境負荷の小さい原材料調達	建設現場	○	自社製のアルカリ電解水を使用し、洗剤等の使用量を低減します。 ホルムアルデヒドを含有する製品の使用を中止します。(対応済)	◎	

5.地域清掃活動

活動項目	サイト区分	達成状況	達成手段	実施状況	評価
①月に1度地域営巣活動	全社	—	今後の地域情勢に配慮しつつ、実施を検討する。	—	※1

※1:コロナ流行により、実施が敬遠される状況にあったので実施を見送っていた。

(3) 次年度の取組み

1) 環境経営目標について

- ・環境経営目標は、「4. 環境経営目標」で計画している2024年度目標を適用します。

2) 環境経営計画について

- ・環境経営目標の達成状況と環境経営計画の実施状況との関係から、現在の取組を引き続き周知徹底して実施することとします。
- ・二酸化炭素排出量の削減目標の内、事務所の電気使用量が目標未達成となったことに対し、基本的には、本計画を継続するが、事務所の電力については、省エネ器具（LED照明）への転換を随時考えていきます。
- ・その他の取組項目については、「5. 環境経営計画」に基づき次年度も継続していきます。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動、製品及びサービスに適応される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2023年度運用期間中の事業活動に対して、2024年6月に環境関連法規等の遵守状況を確認、評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引き渡し	—
家電リサイクル法	製品廃棄の際に適正な引渡、処理料金の支払い	—
労働安全衛生法	健康診断	○

備考) 評価区分 ○:遵守 ×:不遵守 —:該当なし

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・今回の2023年度運用期間終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

(1)取組状況の全体評価

- ・環境への取組状況については、二酸化炭素排出量の削減については環境経営目標は未達成ながらも、業務状況を考慮するとやむを得ない結果であると考えられる。
- ・前年度の取り組みを厳密に実行することを周知徹底し、改善を目指します。
- ・2024年度は、二酸化炭素排出量の削減取組を継続・強化するとともに、積極的なエコ活動を確実に実施していきます。

(2)見直しの結果

- ・今回の運用成績を踏まえて、環境経営方針、環境経営目標、実施体制は、次年度も継続しますが環境経営計画の事務所の節電の取組み(計画的な照明のLED化)を新たに追加して、目標達成を目指します。